2023年10月18日

砂山商事株式会社

代表取締役 砂山　広成

バージョン :01

砂山商事株式会社

SDGs宣言

『産業と暮らしの応援団』として、地域の発展と暮らしの安心・安全
のインフラ支援企業として地域社会に必要な企業でありたい

私たちのSDGs宣言

私たちはインフラ支援企業として、再生可能エネルギーの運用推進、安心・安全な水の供給を通じて持続可能な地域社会への貢献を目指します。

当社のSDGsへの貢献

再生可能エネルギー、水素エネルギーの推進

- 2030年までに再生可能エネルギーと水素エネルギーの推進によりCO_2削減に貢献する

将来の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくる為

発電時にCO_2や有害な廃棄物を出さないクリーンな再生エネルギーや水素エネルギーを使用し、地球温暖化ストップや、次世代に美しい地球と豊かな資源を残す

安心・安全なお水の供給

- 2030年までに年間生産量 108,000本 を提供可能な状態

安心・安全なお水にて、環境に配慮したシステムの構築

ウォーターサーバー事業において、自社ボトル充填工場を設立することで安心・安全の安定的生産ラインにて、リターナブルボトルによる生産供給により、プラスチックごみ削減

地域防災拠点の確立

- 2030年までに自社ウォーターサーバーの充填工場を設立し、地域防災拠点としての機能も備える

地域社会から必要とされるインフラ支援企業としての使命

地域防災拠点として、災害時に必要とされるライフラインに欠かすことが出来ないエネルギー源。弊社のノウハウがある太陽光発電・蓄電システム、プロパンガス、灯油の他、商事会社の強みである、エネルギーだけでなく衛生用品や洗剤類の販売チャンネルと知識と経験で、地域社会に貢献していく。

働き方平等な機会

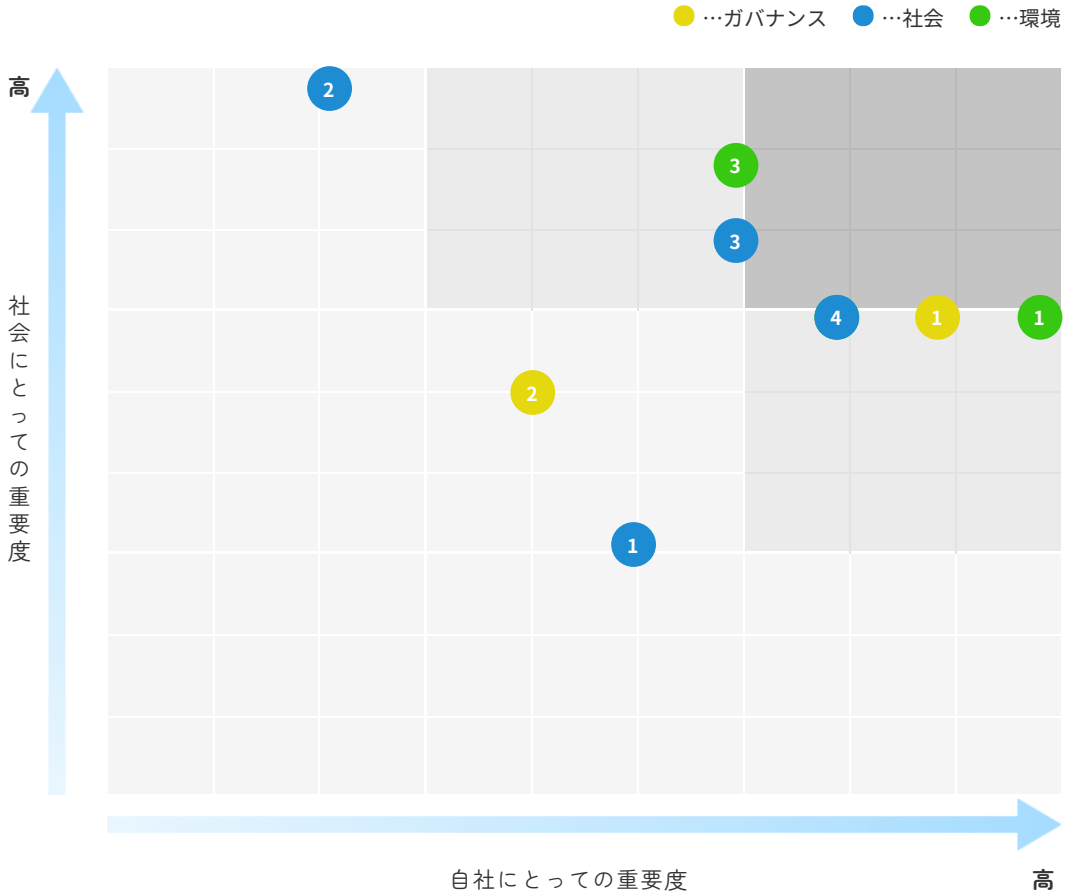
- 多様な人材が働きやすい職場環境を構築する

働き方改革

社員に寄り添った健康経営
ワークライフに配慮した働きやすい職場づくり

私たちの重要課題を洗い出し、マテリアリティを特定しました。

当社では、SDGs宣言の策定にあたり、マテリアリティの特定を行いました。
SDGsやパリ協定、および自社が取り組んでいる社会課題を抽出し、
自社における重要度とステークホルダーへの影響度の2軸でマッピングを行い、分析しました。
マトリックスの右上が私たちのマテリアリティとなり、
外部有識者との対話と検証によって、最終的に決定しました。



マテリアリティ項目

環境 / Environment

1. 再生可能エネルギーを使用したウォーターサーバー工場建設
2. ウォーターサーバーの普及率を上げ熱中症死者の削減に貢献
3. エネルギー自給率100%

社会 / Social

1. 太陽光販売専門の別会社を立ち上げ公共産業への進出
2. 地域の安心・安全の確認
3. 老若男女が働きやすい職場環境作り
4. 水素の製造段階に再生可能エネルギーを活用

ガバナンス / Governance

1. 工場ラインの無人化、AIと生産自動化ロボットの共生
2. AIを活用し遠隔操作（高齢者でもワンタッチで操作する）

事業のすべてのステージで
SDGsへの取り組みを推進していきます。

当社では、事業活動のすべてのステージで、SDGs を視野に入れた活動に取り組んでいます。
SDGsポリシーの下に、新たに力を入れていく取り組みに加え、
従来から私たちが推進してきた活動をバリューチェーンのそれぞれのステージに示しました。

	仕入れ調達	物流	製造	販売・納品	製品の使用	製品の廃棄	アフター保守サービス
正の影響	品質と環境に配慮した商品 適正価格による取引 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	商品の安定供給 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを	充填工場建設からすべて自社管理 リターナブルボトル採用によりプラスチックゴミ削減 6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 14 海の豊かさを守ろう	情報提供 社会性、利益性、人間性を追求した事業 再生可能エネルギーの推進 3 すべての人に健康と福祉を 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任	安全な労働環境の推進 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを		製品の長寿命化 適性期間設定による保守整備サービスの提案と提供 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任
負の影響	調達体制の強化 再利用不可能な商品 8 働きがいも経済成長も 12 つくる責任 つかう責任	配送時によるCO_2排出・・・ハイブリッド車、EV車、鉄道 まとめて発注・運搬の最小化 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を	充填工場稼働によるCO_2排出 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を	CO2排出抑制する為に電力化 13 気候変動に具体的な対策を		廃棄物の削減 環境負荷が少ない商品 リサイクル、リユースに配慮 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう	

当社が価値創造モデルを描きました。

SDGsポリシー

『産業と暮らしの応援団』として、地域の発展と暮らしの安心・安全のインフラ支援企業として地域社会に必要な企業でありたい

INPUT

財産資本

業界水準を超える総資本経常利益率
自己資本比率は三期連続して増加

製造資本

事業拠点数：本社、小松営業所、メンテルーム、蓮根ファーム
高圧ガス貯蔵庫

知的資本

ウォーターネット石川エリアライセンス

蓄積した技術：創業60周年

人的資本

従業員数：30人
迅速な意思決定
社員教育

社会関係資本

ブランド：ＧＳＮ商品
従業員資格：高圧ガス販売主任、ガス設備士・危険物乙4

環境資本

土地：蓮根事業
水：水宅配事業
エネルギー：ガス事業

事業と事業戦略

カーボンニュートラル脱炭素社会の実現

「Leave no one behind（誰一人取り残さない）」

機会とリスク

機会

脱炭素などの社会的課題に対して広義のGXを進め事業を通じてその解決に貢献します

リスク

地球温暖化・災害リスク

OUTPUT

再生可能エネルギー、水素エネルギーの推進

安心・安全なお水の供給

社会への創出価値

循環型経済によるCO２削減をする
循環型SDGｓ取り組みのパイオニア

自社への創出価値

収益性の向上
付加価値事業の創出
ステークホルダーの存在

地域防災拠点の確立

働き方平等な機会

CSV※

Vision

地域社会から必要とされるインフラ支援企業

※CSVとは、Creating Shared Valueの略。企業が社会的な課題に取り組むことで、企業の生産性や経済的価値が高まること。